日本一有名な耳の神社を分祀
敷地内に耳明神社分社を建立
「患者様の心の支えになれば」

感覚器領域に特化し、一般外来から入院を伴う手術まで幅広い治療が行える専門病院を抱える［医］徹慈会堀病院（福山市沖野上町3-4-13、宇高　毅理事長、電084・926・3387）はこのほど、尾道市因島土生町の大山神社の境内社「耳明（みみご）神社」より祭神を分祀。耳の神様として全国的に有名な神社であり、同院駐車場敷地内に徹慈会分社を建立＝**写真下**＝して2月7日に鎮座祭＝**写真上**＝が斎行された。宇高理事長（53）は「少しでも患者様の心の支えになれば」と話している。

徹慈会分社前の宇高理事長

耳明神社は800年程前の鎌倉時代初期に、巻幡俊宮司の先祖である藤原泰高が因島に来島した折に、藤原氏（中臣氏）の祖先神である天児屋根命（あめのこやねのみこと）を祭ったのが始まりと言われる。日本で唯一、耳の病気での祈祷ができる神社としても知られており、耳の病気の快癒を願う人から耳鼻科の医師まで、全国から参拝に訪れるという。

堀病院は、1976年に耳鼻咽喉科の医院（19床）として開院し、81年より39床に増床して単科病院になった。2011年に宇高医師が院長・理事長を継承し、眼科や内科、形成外科や皮フ科、整形外科、小児科などを設けて、耳鼻咽喉科に関連する頭頸部の病気をワンストップで治療できる体制を構築した。耳の手術数では、過去15年間で1千例を超えるなど総合病院や大学病院に比肩するほど中四国でトップクラスの成績を誇っている。

同社から耳鼻咽喉科へ分祀したのは例がないようで、宇高理事長は「以前から地元に日本一有名な耳の神社があることを知っており、何度か参詣しております。当院に勤務して15年目になりますが、これまで耳鼻咽喉科関連の様々な治療が行えるよう医療設備やスタッフを充実させてきました。このたびは、患者様の心の支えになればと分祀をお願いしたところ、巻幡宮司からご快諾いただけて幸いでした」と話す。今後は年1回程度、祭礼を行う予定という。

桝田滋久さん
ジュニアインストラクター資格
3／29ローズコムで取得講座

体質改善トレーニングや発育サポートを行う「Aruku Body～理想の体で未来を歩む～」（https://arukubody.jp/）主宰の桝田滋久さん＝**写真**＝（福山市、電084・994・5437）は3月29日［土］午後6時―10時、日本幼児いきいき育成協会「ジュニアインストラクター」資格取得講座を同市霞町のまなびの館ローズコム4階大会議室で催す。妊娠前の女性や子育て中の夫婦、教育関係者、子どもサークル関係者を対象に、子どもの健全な発育のサポートに役立つ、エビデンスに基づいた様々な知識が学べるという。

同協会は2018年に日本幼児脂質栄養学協会として発足。発起人は山田豊文氏（杏林予防医学研究所所長）で、山田氏は40年程前からテレビや雑誌などを通して健康や美容について持論を展開し、トランス脂肪酸撲滅運動やファスティングの普及などに努めてきた。現在も各界の著名人やアスリートの体質改善指導に関わっている。

同講座では、児童虐待や特別支援学級の生徒が増えているという「子ども社会の現状」を踏まえ、「音と発育の関係」、「正しい食生活と腸内環境」、「望ましい運